

## 平成 27 年度 滋賀県がん診療連携協議会・第 3 回診療支援部会 議事概要

- 日時** 平成 28 年 2 月 25 日 (木) 18 時 00 分～19 時 20 分
- 場所** 滋賀医科大学医学部附属病院 4 階 第 4 会議室
- 出席者** 滋賀医科大学医学部附属病院 (部会長：谷消化器外科診療科長)、滋賀県立成人病センター (打田主査)、公立甲賀病院 (沖野院長代行)、彦根市立病院 (來住診療局主任部長)、市立長浜病院 (伏木放射線科責任部長)、高島市民病院 (小泉副院長)、草津総合病院 (卜部副院長)、東近江総合医療センター (目片副院長)、滋賀県医師会 (重永理事)、滋賀県歯科医師会 (松井公衆衛生部会副部長 (代理：大西))、滋賀県病院薬剤師会 (寺田会長 (代理：大辻))、滋賀県放射線治療連絡協議会 (芥田会長)、滋賀県健康医療福祉部 (鈴木健康医療課がん・疾病対策室主席参事、随員：奥井)
- 【オブザーバー】 滋賀県がん患者団体連絡協議会 (菊井会長、藤田さん、多田さん)
- 【部会事務局】 滋賀医科大学医療サービス課 (浅井課長、黒瀬課長補佐、中森専門職員)
- 欠席者** 大津赤十字病院 (副部会長：土井副院長)、滋賀県立成人病センター (副部会長：川上副院長)、大津市民病院 (青木副院長)、済生会滋賀県病院 (重松消化器内科 副院長)、近江八幡市立総合医療センター (石川消化器内科部長)、長浜赤十字病院 (駒井消化器内科部長)、滋賀県薬剤師会 (中嶋介護福祉委員会委員)、滋賀県看護協会 (三上専務理事)、滋賀県放射線技師会 (山田理事)、滋賀県歯科衛生士会 (山本監事)
- 【準部会員】 滋賀医科大学医学部附属病院 (醍醐腫瘍センター長)

### 1. 報告

今回初参加の滋賀県医師会重永部会員の紹介、挨拶があった。

#### 各部会所掌事務の改定と部会の再編について (席上配布資料)

診療支援部会をはじめとする各部会については、最初の開始から年数も経ち、政策の変更とか社会情勢等が変わってきて、現在実施している業務をそのまま実施していてよいのか、他の部会も含めて所掌の再考を感じているところである。

このことについては、第 2 回の企画運営委員会でも協議されているとおり (席上配布資料)、当診療支援部会では、もともと医師の派遣に関することが命題としてあるが、現実としてはかなり難しい面があることから、関連各部会と調整しながら所掌の見直しを進めていくこととされているので、鈴木部会員 (滋賀県がん診療連携協議会企画運営委員会委員長) から次のとおり報告 (説明) いただいた。

所掌事務が規定されたのは足掛け 7 年前で、厚生労働省健康局長通知、がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針等に規定されている指定要件等を 6 つの部会で分担、所掌してきたもので、この間に治療法であるとか考え方が変わってきて従来のままではなかなか業務が成り立たなくなっている。

平成27年6月1日に開催された「がんサミット」で「がん対策加速化プラン」を策定することとされ、実施すべき具体策として、「予防」、「治療・研究」、「がんとの共生」があり、ここに書かれていることが今後我々が部会を通じて実施していくことと理解している。

この部会においては、当初県内の医療従事者の派遣とか調整を主題としていたが、病院の設置者が異なることから、地域の特性もいろいろなことがあり、滋賀県だけでなくほとんどの都道府県においても難しいということになって、これを表看板に掲げるところはなくなってきた。それに代わって、主たるところは各病院の強みとかを県民の皆さんに情報提供していくとか、当初目標にもあった高度医療の推進に関すること、がん治療薬の治験とか臨床試験に関することが「がん対策加速化プラン」の⑤として掲げられている。また、相談支援においては、当初は就労支援とか妊よう性の温存とかは全くなかったが、いまはそれを中心に活動しているのでそういうものも入れる。また、地域におけるがん医療は、病診連携、在宅連携 支援所 在宅の連携はなかなか出来ないが病病連携は出来ている。しかし、その両者間をつなぐことはなかなか難しいし、実際在宅においてはがんの緩和医療も端緒についているところである。例えば先日行った第7回がん医療フォーラムのアンケートの今後取り上げてほしいテーマに、地域側の視点、地域側の声、包括支援センターの取り組みなどを今後教えていただきたい、在宅との連携、治らないがんの最終段階の患者支援についてこれ以上治療しないと決めた後の地域の患者支援をどうするのか、こういうところを問われてきているので、在宅のがん緩和医療の支援とかいうところも必要だということなので、6部会の部会長に所掌の見直しをお願いして、その結果を今事務局で取りまとめているところである。3月の企画運営委員会で検討して固めていきたいと考えている。

前回10月21日の議事概要を確認した。

## 2. 議題

### (1) 平成27年度 of 取組について

#### 1) 各病院の専門性を活かした医療機能分担のための公表項目について（資料1）

各拠点病院、支援病院のがんに関する情報を、県のホームページのがん情報サイトに掲載して、一般の方や医療従事者が閲覧できるように進めているところである。進捗状況について、鈴木部会員から次の説明があった。

この部会においては、各病院の強みを県民の皆様にはわかりやすく紹介するところまでいろいろ考えていたが、現況報告から主たるものを抽出してという作業が進んでいて、資料1の1.当初案にあげている項目で掲載してはどうかという提案があり、いろいろ業者と調整したが、PDFの枚数が多くてかつクリックする回数が非常に多くなり、簡単に情報を入手できるような構造にするのはかなり難しく予算的にも限りがあるので勘弁してもらえないかということになっている。そこで、2.変更案(参考例)として、従来から広島がんネットというのをよく出してきているが、かなりまとまっており、具体的に簡単な表にしている

現況報告そのままではなくかなり咀嚼した形であげられており、こういう形でできればどうかといろいろ考えていたが、がん対策加速化プランが策定され、実施すべき具体策の治療・研究の③がん医療に関する情報提供として、患者視点で簡単に検索できる拠点病院検索システムの構築が掲げられ、このシステムは国立がん研究センターで一括して実施することになっている。具体として、疾患名、ステージ、地域を入れると現況報告の内容が一覧で見ることができる、患者視点で簡単に検索・比較できる拠点病院検索システムが作られており、現況報告を非常に見やすいシステムが既に国立がん研究センターの情報提供の専門メンバーが作りあげているので、これを活用してはどうかということ提案したいところである。ただこれは国の指定する病院であるので、当県における支援病院のデータは出ていないのでそれを今後どのようにわかりやすく広報するかということが課題かと思っている。

拠点病院についてはこのシステムで見られるが、支援病院をどうするかというところになる。

いろいろ、診療内容であるとかデータを調整してきたが、こういう形でまたそれに合うような方向で進めていこうと考えている。たたき台となるデータは資料2にあると思うが、施設のスタッフの配置であるとか機器の購入等によって内容の追加変更が生じると思うので変更があれば随時事務局に連絡をいただくようお願いしたい。

## 2) 拠点病院・支援病院の実施する先進的(高度)ながん医療について(資料2)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/seijin/gan/kyogikai/map.html>

昨年末に、各拠点病院が実施している先進的(高度)ながん医療については、各病院にご協力いただき更新した情報をご提出いただいた。近々、県のホームページを更新する予定である。

## (2)がん情報サイトの利用について

(資料3)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/ganjoho/>

昨年4月より県のがん情報サイトが公開され、各団体のホームページにもリンクを貼っていただき、また、フォーラム等のチラシで広報していただいたことにより、徐々にアクセス数は増加してきた。引き続き、リンクを貼っていただく等、サイトの広報活動にご協力いただきたい。

前回の議事録をみると、講演会等を開催される場合、そのチラシの片隅にサイトのアドレスを入れることとアンケートの最後にサイトを活用していただくよう入れておくといいのではないかと発言されている。

ただ、各機関等のホームページのどの位置にどういう形でリンクを貼るかの具体的な議論はできていない。

各機関のホームページを見てみたが、トップページに貼られているところはなかった。がん関係のところに貼られていたり、リンク集の中に貼られていれば良しと

するか曖昧な状態である。

草津総合病院は現在サイトを整備中であるので整備ができ次第対応したい。

各ホームページを見にいても、目的とするところになかなかいきつけないので、バナーを貼ってすぐみられるようにすることがよいのではないかと。

患者の視点からすると、各病院のホームページから情報を探すが、なかなか必要情報のページにたどり着けない現状があって、すぐたどり着けるように努力していただきたいと思っている。また、患者サロン等を運営しているが、そこにもなかなかたどり着けないので工夫をしていただけたらと感じている。

鈴木部会員から次の発言があった。

がん情報サイトは、もともと診療支援部会が先頭を切ってやってきたが、情報ということなので、一本化というところで、企画運営委員会、協議会で最終決定をして各病院の責任者にその旨をきっちりと文書でお送りするというようにしていく方が良いと考えている。

この部会は、各病院の強みというところで先進的(高度)ながん医療について主導していただけたらと考えている。

前回、チラシの片隅にサイトのアドレスを入れる等の話をしたが、あくまで口頭だけであるので、これも企画運営委員会、協議会で議論してどの場所に貼っていただきたいか等、具体の依頼を協議会長名の文書で依頼することが良いと考えている。

3月2日に企画運営委員会を開催するので、診療支援部会から、ホームページの件(できれば入り口をがん相談支援センターと患者サロンにする)とチラシ、アンケートの件を上げていただきたい。

ちらし、アンケート等の配布文書においては、県と患者会のサイトアドレスを入れていただくということになったと発言いただき、企画運営委員会から協議会に出して、認められたら協議会長名で依頼文を配布すればよいと考えている。

### (3) 今年度各団体の取組結果と28年度取組予定について (資料4)

今年度の取組結果と28年度取組み予定について、各団体から次の報告があった。  
(滋賀県医師会)

#### 27年度

- ・がん対策関連事業として「全がん患者登録管理事業」を実施した。  
(結果(平成21年から今年度で終了)を別紙で報告)
- ・他団体の開催される研修会等を積極的に後援した。
- ・「がん関連」の研修会等の開催内容を滋賀県医師会報にスポット掲載し、会員に周知した。
- ・平成24年から26年度の「滋賀医学会総会」でがんをテーマに会員研修を行った。
- ・あさがおネットは積極的に利用するよう進んできている。びわこメディカルネットの連携はまだ進められていない。2つをいっしょにして進めていければと考えている。

## 28年度

- ・「全がん患者登録管理事業」は平成27年度で終了する。
- ・他団体から依頼された研修会等を積極的に後援する。
- ・「がん関連」の研修会等の開催内容を滋賀県医師会報にスポット掲載し、会員に周知する。
- ・シームレスながん治療の体制づくりをするための支援をする。
- ・「5大がん地域連携パス」を有効利用し、病診連携をスムーズに行う。
- ・慢性疾患の方ががんになったとき、又その逆についてもしっかりフォローしていきたい。

(滋賀県病院薬剤師会)

## 27年度

- ・平成26年度に引き続き、セミナーや講演会を実施し、どれも100名以上のオール薬剤師が参加している。
- ・病院薬剤師を対象にした症例検討会を2カ月に1回開催し、病院間の相互交流とがんに関わる薬剤師の臨床能力の充実をさらに進めている。
- ・がん専門薬剤師は、滋賀医大に1名のみであったが、他機関で1名が追加となる。
- ・がん対策推進イベントについて、各商業施設でアピールさせていただいた。

## 28年度

- ・認定、専門薬剤師を増やしていく。
- ・各イベントに積極的に参加していく。

(滋賀県薬剤師会) 欠席

(滋賀県歯科医師会)

## 27年度

- ・がん患者の口腔ケアに関する研修会の実施（歯科関係者向け）  
厚生労働省・国立がん研究センターより日本歯科医師会委託事業である「全国共  
通がん医科歯科連携講習会」(DVD講習会)を今年度2回(昨年度3回、累計5  
回)実施した。

第1回：平成27年6月25日(木) 於 滋賀県歯科医師会 受講者19名

第2回：平成27年11月5日(木) 於 滋賀県歯科医師会 受講者15名

いずれも、滋賀県立成人病センターの鈴木孝世副院長(がん治療認定医)に來会  
いただき、DVD講習の補足講演をいただいた。

また、受講者のうち希望者は「連携登録歯科医療機関」に登録し、登録歯科医療  
機関は日本歯科医師会・国立がん研究センターを通じて全国のがん拠点病院に情報  
提供されるとともに、がん対策情報センターWebサイト「がん情報サービス」に掲  
載された。

\*昨年度からの累計受講者数は147名(歯科医師・歯科衛生士。重複受講含む)

\*連携登録歯科医療機関は累計65医療機関。

- ・口腔がん検診の啓発のための県民公開講座および歯科相談の実施

\*健口いきいきフォーラム2015・歯ートフル淡海2015

平成27年11月8日(日) 於 ショッピングプラザアピア八日市店

- ・健口いきいきセミナー（一般県民向け講演） 受講者 110 名  
「お口にできるガンのはなし」  
講師：堤泰彦（東近江総合医療センター 歯科口腔外科 歯科医師）
- ・お口の相談室（歯科相談）

#### 28 年度

- ・県委託事業「歯科医師等派遣委託事業」におけるがん周術期患者の口腔ケアの実施

歯科の無い病院へ地元歯科医師・歯科衛生士を派遣し、入院患者の口腔機能管理を行う「歯科医師等派遣委託事業」において、同意のあったがん周術期患者の口腔ケアを行い、感染症や肺炎の予防、放射線治療による口内炎・口腔乾燥の予防（摂食機能の維持による術後の早期回復）等を図る。

（平成 27 年度現在：事業実施病院 4 病院、うちがん周術期患者の口腔ケア実施は 1 病院）

- ・口腔がん検診の啓発のための県民公開講座および歯科相談の実施（詳細未定）

（滋賀県歯科衛生士会）欠席

（滋賀県放射線治療連絡協議会）

#### 27 年度

- ・当協議会の主催で次の 2 回の協議会および勉強会を行った。

平成 27 年 6 月 13 日に第 14 回滋賀放射線治療連絡協議会および勉強会を滋賀県立成人病センター放射線治療部の当番主催で同センター東館講堂にて開催して 42 名の参加があった。

平成 28 年 1 月 23 日第 15 回滋賀放射線治療連絡協議会および勉強会を大津市民病院放射線部の当番主催で同院放射線治療棟 2F カンファレンス室にて開催し 42 名の参加があった。

- ・平成 27 年 11 月に当協議会のホームページ(<http://shigaradonc.wp.xdomain.jp/>)を開設し、県のサイト“がん情報が”の医療関係団体リンク集にも掲載していただいた。今後、内容の充実が課題であると考えている。

- ・平成 28 年 2 月 7 日開催の第 7 回滋賀県がん医療フォーラムなどの県内で開催された、がん診療（特に放射線治療）に関する講演会、フォーラム等への会としての協賛、後援を例年通り行った。

#### 28 年度

- ・例年通り、年 2 回夏期冬期に連絡協議会および勉強会の開催を予定している。
- ・取りあえず立ち上げた滋賀県放射線治療連絡協議会のホームページの積極的な利用と内容の充実に努めたい。
- ・その他、県内で開催されるがん診療に関する（特に放射線治療に係る）講演会、フォーラム等への会としての協賛、後援を引き続き随時行っていく予定である。

（滋賀県看護協会）欠席

（滋賀県放射線技師会）欠席

#### （4）診療支援部会の取組の評価（最終評価）について

（資料 5）

前回、第2回の部会で中間評価をしていただき、滋賀県がん診療連携協議会企画運営委員会で報告を行った。今回は、最終評価について検討していただく。

27年度の診療支援部会の取り組みは5項目であり、5項目の取り組みについて個別に検討した。

1. 各病院の機能分担を目指した機能調査（項目の選択）について

前回の部会で、公開する方向性がほぼ決まり、現在、県で実際にホームページに載せていただくための作業を行っていることから、ほぼ計画通りに進んでいるので、「A」。

2. 先進的（高度）ながん医療について

がん情報しがの中の「がんを治す」という項目中に最新の治療を受けるという項目があり、各病院が実施している先進的（高度）ながん医療を掲載している。更新が滞っていたが、各病院から最新情報を提出していただき情報を更新したので（A）とする。

3. 診療支援推進の仕組みの検討等

診療支援部会の当初の目標は、医師の派遣調整を行うことであったが、実際には難しいことから、メーリングリストを活用し、セカンドオピニオン、治験情報、各病院・各団体からの情報発信等可能な限りの情報を共有するとして取り組んでいるので（A）とする。

4. 各団体の取組みを把握していく

年3回の部会にて各団体の取組み状況について報告していただき、情報共有も出来ているので（A）とする。

5. ホームページの拡充、メーリングリストの利用によるネットワークの構築

がん情報サイトの拡充と、部会員同士の情報共有を図るため、メーリングリストを作成し運用している。ホームページ、がん情報サイトも拡充の傾向にあるが、メーリングリストの運用については活用しきれていない部分があるので（B）とする。

以上より、当部会のアクションプランの最終評価は（A）とすることとした。

なお、来年度のアクションプランについては、部会再編が行われるため、新部会において検討していただく。

## （5）PDCAサイクルについて

（資料6）

当部会のPDCAサイクルの指標は、がん情報サイト「がん情報しが」が昨年4月に立ち上がったことから、サイトを見た人が検索しやすいとか、わかりやすいなどの評価をしていただくことを念頭におき、サイトの閲覧数を指標にした。サイトについては、いろいろな画面が閲覧されており、閲覧数も徐々に増加している。

また、各団体のホームページにリンクを貼っていただき、フォーラム等のチラシで広報していただいたことにより、徐々にアクセスは増加してきた。

現在、ホームページの改訂作業も行われている。

以上より順調に推移してきていると考えている。

鈴木部会員から次の発言があった。

チェックの考え方はこのとおりでよいと思う。アクションとしては、来年度は当部会の目標が変更されると思うので、情報に関しては今年度が世話役としての最終年度になると思っている。先ほどお話ししたホームページにリンクを貼っていただくとか、チラシ、アンケートにアドレスを入れていただくとかは、責任のある協議会のほうからきっちりと各病院にお知らせするというので、そこを書き込んでいただければ完成かなと思っている。

## (6) その他

### 1) 第7回滋賀県がん医療フォーラム アンケート結果について

協議会事務局より次の報告があった。

今回の広報は、開催地の近江八幡市および隣接地に重点的に集中した結果、広報したところから多くの方に来ていただいた。なお、重点的に広報したわけではないが大津市から多数参加いただいている。

年齢層は、がん罹患者が増えるといわれている60歳以上が過半数を超えていて、昨年度は就労支援というテーマにして、60歳以上が全体の32パーセントであったことから、設定テーマによって年齢層が異なるので、事務局としては、テーマによってこういった広報が効果的であるかということを考えるための参考になった。

また、フォーラムの感想であるとか今後取り上げてほしいテーマを色々いただいたので、これらを加味して来年度も開催したいと思うので、協議会関係の皆様におかれては、ご多忙とは思いますが、開催の周知であるとか、講師スタッフのご協力についてよろしくお願ひしたいと思っている。

### 2) メールリストの活用について

[sinryosien-ml@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:sinryosien-ml@belle.shiga-med.ac.jp) (診療支援部会)

セカンドオピニオン、治験情報、各病院並びに各団体からの情報発信等について、可能な限りの情報を共有していただくために、メールリストを積極的に活用していただくよう協力依頼をした。

### 3) 2月27日(土)午後開催する「近畿がん政策サミット2016」について、滋賀県がん患者団体連絡協議会から次の案内があった。

医療機関からも多数ご参加いただけることになった。200名収容の会場であるが、半数以上の方に来ていただけている。

副題に「～協働！次期の府県がん対策推進計画を見据えて～」としており、滋賀県は、がん患者がこのように委員会等にたくさん参加させていただいており、全国でもトップクラスのがん対策に参画している県になっていくと感謝している。ただ、近畿の中には委員として全く入れていない県があり、全国でもたくさんある。今回滋賀県のよいところを他県の皆様に見ていただく、遠くは、北海道、島根県、岐阜県からも参加していただくことになっている。



第3期のがん対策推進計画に向けて、また加速化プランが策定されたので、グループワークで、患者、医療者、議員、行政の価値観の違う人がグループになってその中で5つの分野について、みんなで話し合っ意見を出し合っ、限られたがん資源を以下に有効に使っっていくか、また患者の思いをいかに受け止めていただくかという初めての企画を考えているのでぜひお越しいただきたい。

なお、当日午前中は、滋賀県がん対策基金をいただいて実施する「がん患者力・家族力向上事業」として、『「いのちがいちばん輝く日」～あるホスピス病棟の40日～』の自主上映会を開催するので、こちらもぜひ観ていただきたいと思っている。

#### 4) 滋賀県緩和ケア研修会について

草津総合病院から、現在、がんに関わっている医師が34名いるが、受講修了者は14名で、20名が未受講の状況にあるので、苦慮していることの発言があったが、滋賀県緩和ケア研修会は、緩和ケア推進部会の所掌であるので、そちらで議論していただくこととした。

5) 患者会から、びわこメディカルネットの連携について、患者側からはありがたいシステムと思っているが、なかなか進まない現状にある。まずは2次医療圏内で始めていただくとか検討をよろしくお願ひしたいとの発言があった。

#### ○配布資料

診療支援部会 部会員名簿

前回議事概要（平成27年度 第2回診療支援部会 10月21日開催）

（資料1）各病院の専門性を活かした医療機能分担のための公表項目（ホームページ案）

（資料2）拠点病院・支援病院の実施する先進的（高度）ながん医療一覧（案）

（資料3）がん情報サイトアクセス状況

（資料4）各団体の平成27年度取組結果と平成28年度取組予定

（資料5）滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート

（資料6）平成27年度滋賀県がん診療連携協議会PDCAチェックリスト

（資料7）第7回滋賀県がん医療フォーラム アンケート結果